

食事にゲームにおしゃべりと 時間のたつのも忘れ楽しみました



中川原一人暮らしお年寄りとの食事会 (2月27日)

ふくろう新聞

<発行>

特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
広報委員会

洲本市中川原町中川原 28 番地 1
TEL: 0799-25-8550
FAX: 0799-25-8551
ホームページ

<http://hyoufuku.main.jp/fukurou/>

独居老人お食事会

「日本聴力障害新聞」の2月号に神戸での施設建設の取り組みについて掲載されました。するとその記事を読んだ千葉県にお住いの手話を勉強されている方から、多額の寄付が振り込まれました。このような、皆様の温かいお気持ちに応えるためにも今年には何とか工事が着工できますようがんばりたいと思います。

中川原地区民生委員協議会主催の「一人暮らしお年寄りとの食事会」がふくろうの郷で行われました。インフルエンザの流行もあり心配されましたが、一人暮らしの方、民生委員合わせ17名が参加されました。

自己紹介の後、調理職員が、中川原産の野菜を使い、「春」をイメージした菜の花の天ぷらや春菊の和え物、チラシ寿司などの昼食を用意しました。参加された方は、「こんなにいっぱいいたべられへんわ」「一人だいつも食事は1品か2品や」とにぎやかにしゃべりながら完食されました。また、入居者に「お齡は?」「若くみえますねえ」「昔はどんな仕事を?」など話が弾みます。午後からは身体を使ったレク

レーションです。入居者との見事な連携プレーで「気軽に参加でき、あつと言う間に時間過ぎてしまった。楽しかった」といっていただきました。今後もこのような交流の機会を続けて行きたいと思

一人ひとり自己紹介を



しだれ梅とともに春の訪れを満喫



入居者自治会の懇談会で「しだれ梅を見に行きたい」「もっと淡路島を知りたい」との希望があり、早速3月2日(土)に、島内で有名な南あわじ市の広田梅林にお出かけしました。満開の梅を前にみなさん楽しまれていました。

ふくろう物語

榎本 廣次さん

榎本廣次さんは昭和24年生まれの69歳です。生まれも育ちも神戸市で、神戸ろう学校を卒業後、31歳で奥様と結婚しました。娘さんと息子さんも聴覚障害があり、手話でのお喋りが花咲くような家庭だったそうです。

しかし息子さんが病気で胃を切除する手術をされた時は「十分な説明がなく詳細が分からず悔しい思いをした」とお話しされていました。

▼ふくろうまつりを奥様（上段左）、友人と一緒に楽しむ榎本さん（下側中央）



病気のため理髪の仕事を断念

「22歳から県庁内の理髪店で仕事をしていた」と得意気に話されます。そこでは10人の内5人がろう者で、健聴の理容師とも手話で交流を深めていました。しかし、ろうの理容師の責任者が亡くなった後、健聴者の責任者とはうまくコミユニケーション面などで折り合わなくなってきました。

55歳のときに母親が亡くなったとの知らせを受け、駆けつける時に榎本さん自身も脳出血で倒れてしまいます。右半身麻痺の後遺症が残り理容の仕事も辞めざるを得なくなりました。それ以降、奥様の介助で生活され平成30年2月にふくろうの郷へ入居されました。

ふくろうの郷での生活

榎本さんにふくろうでの生活をお聞きすると「困っていることは何でも言ってくてください」と職員さんが言ってくれるので大丈夫です。」と笑顔で答えてくださいます。ユニットでは他の入居者と談笑したり、好きな野球番組を観て過ごされています。半身まひがあり体を動かすのが不自由ですが、できることは自分でやろうという気構えが強く、更衣、排せつの時などご自分で力を入れて手すりを持つなど、職員に負担がかからないように配慮してくれました。

榎本さんはとても奥様を大切に思っておられ、普段も奥様の話をすると「困っていることはないだろうか」と心配される様子もあります。昨年の初夏祭りには奥様が来られました。祭りの時も奥様との話しを楽しみ、別れ際には涙を流されていました。また、ふくろう祭りの時には、奥様手作りのお弁当を嬉しそうに召し上がっていました。3月20日は誕生日で

す。奥様が来てくれると嬉しそうに話されます。

榎本さんのやさしく職員を信頼してくれる気持ちに応えられるよう介護職員として学びを深めていきたいです。(生活援助員 川満和則)

あわじ耳の日の集いに参加しました!



▲景品が当たり大喜びの石崎さん

3月3日(日)淡路市しづのおだまき館で「第22回あわじ耳の日の集い」が開催され、ふくろうの郷からは10名の入居者の方が参加されました。

舞台発表では庄崎隆志さんと金子真美さんによる手話劇ではろう者の過去から現在の状況を学べる内容。その後の上方手話落語会のデフー福さんによる一席ではろう者、健聴者関係なく会場一帯が笑いに包まれていました。



▲2人芝居を披露する庄崎さん、金子さん

また一福さんからの福引では入居者の田中豊さんを皮切りに次々と景品に当たるとい幸運が！盲ろう者の藤本さんは、ふくろうの郷に帰ってから職員一人一人に景品を見せて喜びを伝えられていました。

会場のろう者、健聴者関係なく楽しめるひと時を目にし、私たちの目指すべく世の中はこれだと改めて確信した1日でした。(生活援助員 魚崎恭行)

淡路ふくろうの郷でも 初の手話検定試験実施

「入居者ともっと手話で話ができるようになりたい」と全ての職員が自分の目標として掲げていました。そこで、全国手話研修センターの協力をいただき、2月24日(日)、ふくろうの郷でも初めての手話検定試験(団体)を実施することとしました。

受検者は3級10人、4級4人です。試験に備え、自主的な勉強会を重ね、それぞれが合格をめざし努力を重ねてきました。みんな学びあった機会を大切にしたいと、さらにステップアップを目指し、自主学習会は続けていくことになりました。

すごく緊張しました。毎日のコミュニケーションの中では感じられないことや知らないこともありました。改めて手話を勉強し、会話していくことが上達には必要だと感じました。いい経験になりました。(中村ひ)

スクリーンに問題が写しだされ、マークシートで答えるテストでした。3回表現してくれるけど、回答している内に画面が切り替わるので余裕がなく、時間との闘いでした。(渋谷)



事前学習会で、他の部署の職員が集まり、一緒に学べたのがとても楽しく参考になりました。さらに挑戦していきたい。(瀧口)

ふくろうの職員として普段からコミュニケーションとして使っている所以大家スムーズでした。残念だなと感じたのは、指文字の多さです。ろう者には伝わらないことが多いので是非、身振り、実物、写真等で伝える努力をしてください。(審査員)

中川原わくわくイベント ふくろうの郷初出店

2月17日、中川原ふれあいセンターの「中川原わくわくイベント」に初めてふくろうの郷として「焼きそば」「焼き鳥」を出店しました。入居者も午前、午後に分かれ、ふれあいセンターでのイベントを楽しんできました。

入居者の方々は館内のお店を見て回り、パン、衣類に雑貨と、各自で気に入ったものを購入されたり、「シシ汁」の振るまいや焼き鳥などを購入され、おいしそうに食べられる方もおられました。また体育館で披露されていた獅子舞、太鼓も楽しめました。

インフルエンザの流行もあり、買い物、外出を控えていましたが、春のようにあたたかい一日、久しぶりの



▲長蛇の列のふくろうの郷「焼きそば店」

の外出に、みなさん大変喜んでおられました。

(生活援助係
神代 雅司)

自分たちで作ったおやつは格別

星海ユニットおやつレク

2月13日にあん巻作りをしました。入居者の声を聞き、決定。ソフト食の方には羊羹を作りました。材料のかき混ぜは入居者、生地を焼くのは職員。あんこを丸め生地をひっくり返しと大忙し。



▲あん巻を作られる澤田さん、宮崎さん

焼き上がるとあんこを入れて丸めてあん巻の完成。

みんなで協力して出来たあん巻を美味しく召し上がることができ、皆さん大満足でした！ (生活援助員 酒井 裕子)

**淡路聴覚障害者
センター便り**

洲本市港2-26
洲本市健康福祉館3階

**淡路耳の日のついで
センターの役割の再認識**

3月3日の「あわじ耳の日の集い」に当センターとしても社会生活教室の一貫として取り組みました。

午前は「手話教室」や「聞こえの相談」です。「聞こえの相談」では17名の方が相談に來られ、聞こえについて悩みを抱えておられる方が多いのには驚きました。センターの業務について説明させていただいたところ、今後利用したいとの申し出もあり、耳の日の集いはセンターの役割を知っていただくいい機会ともなっています。

**みなさん聞いてください
断種の悔しさを吐露**

午後の式典、講演には淡路島内3市の議員の皆さん、行政関係者、当事者団体等200名を超える参加者であふれ、準

備していた椅子では足りない状況でした。淡路市の歌(手話バージョン)で迎えた式典では、「旧優生保護法による被害者への真の救済・補償のため」との集会アピールがありました。

アピールが終わると、それを聞いていた淡路市在住のろう者、西田晃美さんが、突然、舞台上上がると「みなさんに聞いてほしい。私も子どもを一人出産した後、姉に病院に連れて行かれ、何の説明もなく手術を受けた。後に姉から子どもが生まれないようにする手術だと言われた。夫とも子供は3人は欲しいと話していたのに、悔しい思いを抱えて生きてきた。私も訴えたい」と話されました。

西田さんは、子どもを産んでもらう者には子育ては無理だろう、と親せきに預けられた悔しい経験をお持ちです。その上、断種手術の苦しい思いも持っていたとは、分かりませんでした。やつと話せるようになったので

まだまだ過去の苦しい経験を胸に秘めたままの方もおられると思います。センターとしても学習し、話せる場を作っていきたいと思えます。(高木 恵理)



▲淡路市長も一緒に淡路市民の歌(手話バージョン)で始まった式典

第5回 みんなあつまれ! 輪っはっは♪

聞こえない・聞こえにくい子どもと、その保護者の交流会を3月24日(日)午後、中川原障がい者センターで開催します。子ども達も保護者の方も、この交流会の輪が広がることを願っています。聞こえに不安のあるお子様がいらっしゃれば、ぜひ交流会開催をお知らせ下さい。

連絡・申し込み先は淡路聴覚障害者センターです。

血液検査でわかること

第8回 社会生活教室

2月10日、洲本健康福祉事務所の佐藤保健師をお招きし、「血液検査表の見方」についてお話しただきました。検査結果表を持参された方もおられました。佐藤保健師より表の見方について詳しく説明を聞いた後、「住民健診と病院では結果が違う」とか「住民健診と献血の検査では項目が違うのはなぜ?」と質問があったりと血液検査について感



▲参加者からの質問にわかりやすく答えて下さる佐藤氏

2月17日、難聴者の方々や身近に難聴者がおられる方を対象とした「楽々コミュニケーション」を開催し、12名の参加がありました。

スーパーのレジでお金を支払う時、町内会などでの身近な場面を想定した困り事や解決方法を参加者で意見を話し合いました。難聴者からは、「友人と食事会に行った時に会話がわかりづらい」「電話が苦手によく知っている人とはメールでやりとりしている」などそれぞれ困りごとや、工夫されていることもあり、健聴者からは「私たちが気づいていない事や苦勞されていることを知る機会となった」と感想をいただきました。(楠本 恵利子)

楽々コミュニケーション

洲本健康福祉館



過去最高の盛況、わくわくイベントになりました！

中川原高齢者・障がい者地域 ふれあいセンター



☎656-0002
兵庫県洲本市中川原町中川原 222-2
TEL 0799-28-0990
FAX 0799-28-0992



2月17日(日)、中川原わくわくイベントを開催しました(中川原ふれあい便りに関連記事)。

今回は出店者募集等の各事前準備と当日対応すべてふれ

あい運営委員・町内会・地元消防団・中川原有志関係者という「オール中川原」で行い、手

作り感溢れるイベントとなりました。ですので当日を迎える

るまでは「人来るんか?」「(連合町内会役員で用意した)焼

き芋売れ残ったら皆で負担やど」と皆不安な気持ちで当日

を迎えたのですが、蓋を開けてみると天気も味方してくれ

すぐに駐車場が満車、過去最高の来客数となりました。

参加者からは「こんな大きいイベントとは思わなかった。次回はいつ?」、出店者からは「アウトホームな雰囲気

で自分も楽しめた」と大変好評で、スタッフ側も「今回が一番良かった」と充実感あふれる1日となりました。

地域活性化の一助となるよう取り組んでいるこのイベントもすでに6回目。次回の内容は：乞うご期待ください！

(ふれあいセンター 濱田)



▲子ども達がピザ作りを楽しみました



▲地域の方が焼き芋を作り完売しました

舞台発表

今回から舞台発表を始めました。体育館では地元の勇壮な獅子舞や太鼓などの発表があり、参加者を楽しませてくれました。



獅子舞 (中川原市原獅子舞保存会)



三代太鼓による太鼓



洲本高校ミュージックダンス部

神戸事業所

共同作業所 神戸ろうあハウス
神戸ろうあハウス デーサービスセンター

〒652-0897
兵庫県神戸市兵庫区駒南通5-1-4 西高架下16号
TEL & FAX ... 〇七八・五七九〇七五五



2月10日(日)、垂水勤労市民センター(レバンテホール)でハンドサイン(手話ボーカル&パフォーマンスグループ)によるコンサートを開催いたしました。

コンサートは、歌あり、ダンスあり、トークあり。途中、参加者全員が立ち上がったので、簡単な手話ダンスをして、会場が一体となりパフォーマンスを楽しみ、あっという間の一時間半でした。

500人の観客で埋め尽くされたレバンテホール



神戸施設建設委員会
眞木崇江

神戸施設建設募金

目標 1億円!!

2019.3.1 現在 募金合計額

57,562,672円

(プレート募金134人)

目標1億円まで、あと

42,437,328円



淡路島出身で、株式会社ワールド創業者の畑崎廣敏様が立ち上げた畑崎財団を手話関係者のご紹介で、多額の助成金をいただきました。募金運動の大きな励みになります。ありがとうございました。

3月・4月 ふくろうの暮らし

- 3/16 (土) ふくろうの郷家族の会
- 3/19 (火) ふくろう大学絵手紙講座・入居者自治会懇談会・おのころ屋パン販売
- 3/20 (水) ふくろう喫茶
- 3/26 (火) ふくろう大学修了式
- 4/2 (火) 新人職員と入居者交流会 誕生日会
- 4/7 (日) 中川原地域だんじり訪問
- 4/8 (月) ふくろう理髪店 おのころ屋パン販売
- 4/9 (火) ふくろう大学書道講座
- 4/12 (金) ふくろう工房手芸
- 4/16 (火) 入居者自治会総会 ふくろう大学開講式・絵手紙講座 おのころ屋パン販売
- 4/19 (金) ふくろう工房ちぎり絵



施設見学予定

- 3/18 (月) 県立淡路高校様 17名
- 4/21 (日) 手話サークル伊予ハンズ様 25名

~就職を考えている方のための~ 施設見学会

日時 4月14日(日)

10時~15時

申し込みは淡路ふくろうの郷へ

TEL 0799-25-8550 FAX 0799-25-8551



ふくろうの郷で掃除・食事介助など短時間のお仕事しませんか?

希望時間等、ふくろうの郷までお問合せください。